

署 名 の お 願 い

小石川植物園の土地

1200平方メートルが道路に？

300年の歴史遺産が大幅に削られる危機！

現在、文京区が、東京大学が所有する小石川植物園の周辺道路の整備計画の工事（御殿坂・正門側の通り）を始めようとしています。その計画の中身を知って、私たちはビックリしました。最大 2.9 メートルの幅で、約 1200 平方メートルの植物園敷地を東大から提供させて、車道・歩道の拡幅に使う、というものです。

最初は「20センチほど」

この計画の動きに不安を感じた区民が 2008 年 8 月に区の都市計画課に状況を尋ねに行きました。その際の担当者の回答は、「道路幅を揃える形で植物園の面積を減らさないようにするが、場所によっては 20 センチぐらい植物園を削る」というものでした。しかし、いつのまにか、御殿坂（下掲古地図の右の通り）は最大 2.9 メートル、正門側の道路（同・下の通り）は最大 2 メートル拡充する計画に変更されました。

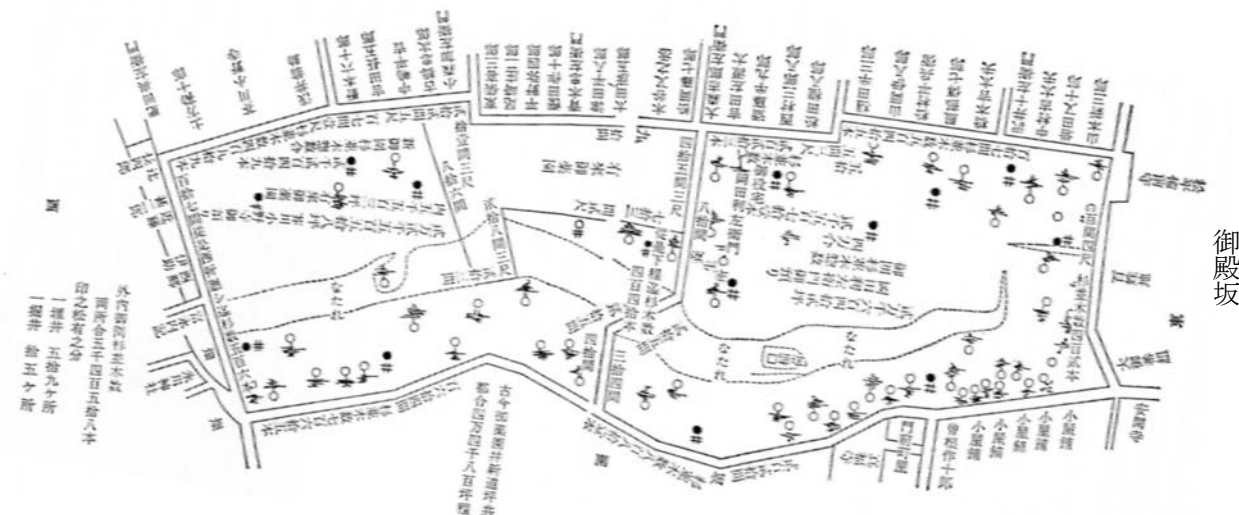
塀をきれいにすることを条件に、区側が強引な交渉を行って、結局、約 1200 平方メートルもの土地を提供させる約束をさせた、と聞いています。

みんなで声をあげよう

小石川植物園は、江戸時代中期以来、形状を保ったまま今に至っています。区民にとっても国民にとっても、大切な歴史的・文化的遺産でもあり、植物学（本草学）上、世界的にも貴重な施設でもあります。利用者の少ない道路の拡幅のために、貴重な遺産の広い面積が失われてしまうことに疑問を感じずにはられません。周囲の建築の条件が変わるため、高い建物が建ち並び、植物園の植生に悪影響を与える事態も懸念されます。

みなさん、「おかしいぞ」と声をあげてください。（↓植物園の古地図 1722 年）

まずは署名にご協力ください。たくさんの署名が、事態を動かす力になります。



正門側の通り （西側）

要望書

201 年 月 日

文京区 区長 成澤 廣修 殿

東京大学総長 濱田 純一 殿

私たちは、以下のことを要望します。

- 1 小石川植物園の周辺道路（区道）の拡幅のために、小石川植物園の敷地を大幅に削る事業計画を見直して、植物園の敷地をできるだけ削らないものに変更してください。
- 2 文京区の小石川植物園周辺道路基本計画（案）による、小石川植物園脇の区道の拡充工事を、準備作業も含めてすぐに停止していただきたい。
- 3 この計画に関して、文京区、東京大学、小石川植物園、東京都、及び一般区民（近隣及び区内在住者等）の5者で協議する場を、急いで設けてください。
- 4 この計画の可否について、文京区のコミュニティゾーン整備協議会であらためて議論をしてください。

氏 名	住 所

第一次集約：2012年2月末です。それ以後も集めます。

集まった署名用紙は、次の集約先にお送り下さいますようお願い申し上げます。

〒112-0001 文京区白山 4-10-15 稲葉信子

問い合わせ先；電話 090-5782-0345 メール n.inaba2@f5.dion.ne.jp

（実施団体連絡先等）